

子供を通じて得られたこと

理事 高橋真澄

私事ですが、今年息子が成人しました。20年前は、上下水業界にほとんど女性がおらず、客先(役所)でも技術系で女性職員と会うことはなかった時代でした。会社内で妊娠、出産するのは、初めてであったため、産前産後休暇や育児休業制度を自ら作り、仕事と育児の両立を行っていました。今ではその制度を利用し、育児休業後に復帰し活躍する女性が増えています。



その息子が小学校2年生になった頃、津軽三味線に夢中になりました。小学校で配布された文化庁伝統文化こども教室がきっかけです。日本舞踊、尺八、太鼓などを日本の伝統文化を1年間体験できるというものでした。母である私が、もし津軽三味線が弾けたらカッコいいなと思い応募し、親子で始めましたが、私はすぐに脱落。先生が褒め上手なこともあり、息子は「斎太郎節」、「秋田おぼこ」は1年で弾けるようになりました。津軽三味線は、右手で小刻みに揺らしながら弾くため、硬い紅木で作られており、子供用がなく、子供でも大人用の三味線を使用するため、子供にとっては支えるだけでも大変な楽器です。それを支えながら弾く姿は、たくましくも感じました。津軽三味線は、太鼓の部分が犬の皮のため、人間の皮膚と同じで乾燥、湿度の収縮に弱く、簡単に割れてしまいます。また、3本の糸のうち2本は絹、1本はナイロンのため、絹の糸は練習量が多いと、数日で切れてしまう繊細なものです。撥はべっ甲で、黄色の部分が多く、薄い撥ほど、良い音色が出るのですが、バランスを崩すと、すぐに折れてしまう繊細なものです。そんな津軽三味線に魅了され、青森県下(弘前市、青森市、金木町)、神戸市等で開催されている全国大会を行脚、台湾遠征、養護老人ホームや保育

園などでのボランティア活動を通じ、老若男女問わず様々な年代の方と交流させていただきました。いつも何か新しいことをはじめることで、人と出会い、人生に新しい視座や価値観が得られ、人生がまた楽しいものとなっています。21世紀水倶楽部の活動も、いつもワクワク、ドキドキして参加しています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

2022 年度活動報告

木更津の干潟(盤州干潟) 見学会報告 2022/05/17

顧問 亀田泰武

木更津海岸干潟見学は今年で13回目となる。見学会の参加者は、総数6名でNPO水倶楽部からは4名。集合は5月17日(火)9:30木更津駅西口出口で、そこからタクシーで近くまで。当日の潮の状況は、潮位表で東京は16日が満月で、5月17日は干潮が11:41の-8cm。



砂とぐろが目立つ

干潟に降り最初に目についたのが去年同様、砂のとぐろで、これはタマシキゴカイ(通称クロムシ)が吐き出した砂。岸近くでもアサリはいて昨年同様小さい。沖に行く途中も小さいのが。昨年より密度は少ないように感じた。

潮干狩り干潟の陸側の港内に筏が浮かんでいて、アサリ稚貝の育成とのこと。11月頃干潟内の稚貝を集めて筏の下に收容し、波に流されず、水面少し下の栄養状態の良いところで、成長が早くなるそう。ただ殻の色が黒っぽくなって少し大きくな

って、干潟で育ったデザイン性の高い殻の小さいアサリと違うそう。



このアサリの貝殻模様は芸術的

小さい穴があいている 2 cm くらいのバカ貝の殻が散見できた。バカ貝の殻厚が薄いので、ツメタガイに攻撃されやすいそう。バカ貝は少し復活しただしたのかも。ツメタガイは去年より多い感じ。姿を消していたマテガイの小さな殻もあった。復活してくれると良いが。

ハマグリは 6 人で 2 個採取。以前撒いたものがまだ少し生き残っているものと考えられる。マメコブシガニは例年より多く、掃除屋のアラムシログイが少ないような印象であった。

小さい穴があいている 2 cm くら

パムメール (悪意のあるメール) である。どこが違うか分かりますか？

⇒[ログインはこちら](#)

えきねっとトップページ右上のログインボタンよりログインしてください。

お問い合わせ先
えきねっとサポートセンター
TEL 050-2016-5000
受付時間 8時00分～22時00分
サイト運営・管理
JR東日本ネットステーション

ちなみに「コールセンターの電話番号」が 050-**** である事。この番号は通常「有料回線」。普通だったら、「0120-****」(無料回線)となる。お薦めしないが、「⇒ログインはこちら」のリンクをクリックすると、「偽のHP」が開く。『危ないのでやらないで欲しい』

また、Microsoft からの通知メールが下の写真である。「漢字」の書体「特に『海・今』」が不自然である。これも「スパムメール」。

会員だより

酔童感話 第 42 話 オンライン時代の間

伊達萩丸

今や「オンラインでの在宅勤務」が当たり前になった。僻地在住の萩丸にとっては有難い限りである。自宅から東京の水倶楽部事務局に行くのにも、公共交通機関で「片道 5 時間弱」を要する。それでも何とかなっているのも、日本全国 (世界中と言った方が良いか?) に張り巡らされた、インターネット (I-Net) の高速回線の恩恵を受けているから。会員の皆様は、どちらかと言うと「PC 関係」に強い人が多いので、その便利さを享受していると言って良いだろう。今年度の「水倶楽部総会」も、コアメンバーが事務局に参集し、他の会員は「オンライン」参加で開催出来た。大屋弘一理事の記念講演も「大阪」からのオンラインで行えた。会員が日本全国に分散して在住している事から、「集会」等の開催にあたり、オンラインを最大活用出来る事は、非常に有意義であると感じている。

また、PC のアプリもオンラインで I-Net に「常時接続」で使用する事が前提となって来た。例えば Microsoft Office 365 がそうである。

ここに「悪い奴ら」が暗躍する場が「さらに大きく」生じてしまった。

例えば、次ページ上の写真は、「JR 東日本」の I-Net 切符予約サイト「駅ねっと」からの通知メール。ちなみにこれは「ス

Microsoft Ocean Plastic マウス

Microsoft Ocean Plastic マウスの本体には、再生海洋プラスチックが 20% 使用されています。この画期的な素材技術の開発のために、私たちは海や水路からプラスチック廃棄物を取り除くことから始めました。パッケージにはプラスチックを使用せず、リサイクル可能な木材とサトウキビの天然繊維から作られています。Microsoft の持続可能性への取り組みの小さな 1 歩をご覧ください。

[今すぐチェック >](#)

会員の皆様は、ご自身の PC に「セキュリティソフト等」をインストールしているから大丈夫!と思われているかも知れないが、PC 関係は「悪意のあるハッカー」の方が一枚上手である。新しいウィルスやスパムメールの方が先で、対策は「後」である。

この事は、ある程度「分かっていたら」防げる事、「オレオレ詐欺の様な物」なので、本文章が、皆様の注意喚起になれば幸いである。

編集幹事のあと整理

- 本号で予定していた原稿は、締め切りが早すぎたせいか、全部が掲載されてはいません。次号は7月中の発行を予定しているので、未掲載分はそこでの掲載をお待ちください。
- 編集幹事はコロナの二年間、ろくに外出機会がなく、肉体的、精神的にもフレイルを来しています。そこで NPO 主催の研究集会にもできるだけ「会場参加」を選んでいきます。難しい話を聞いたあとの飲み会も目当てですが、こちらの方の全面解禁は遅々としていますね。
- 会員日よりコーナーへの投稿を募集しています。ステイホームなので多くの投稿を期待しています。投稿はいつでも受け付けます。直近の号に掲載します。投稿要領などは望月から毎回お出ししている原稿依頼メールをご覧ください。

編集幹事・望月



ヴァトナヨークトル氷河<アイスランド